

「病院にきれいなお花が咲いています」



5月13日、「神石高原町立病院を守る会」の方々によるボランティア活動で、町立病院周辺の草刈や草取、植木の剪定をしていただきました。また、プランターにたくさん花を植えていただき、きれいに咲いています。病院を大切に思う活動に感謝し大事に育てたいと思います。
ありがとうございました。



「看護の日」イベントを開催しました



恒例の「看護の日」イベントを5月15日、町立病院外来フロアで開催しました。今年で4回目となるイベントで、たくさんの方に参加していただきました。血圧・体脂肪・血管年齢の測定とあわせ、いすに座ったままできる運動や、減塩みそ汁の試食をしながらの栄養指導など行いました。「健康管理は自分でしましょう」のテーマどおり、自分の健康管理について考えることができるイベントになりました。

「肺炎球菌ワクチンについて」

町立病院健康学習会「まめくらぶ」



5月29日、今年度も「まめくらぶ」が始まりました。第1回目の内容は、原田院長による「肺炎球菌ワクチンについて」でした。

肺炎の病原菌のうち4分の1が「肺炎球菌」という細菌で、症状が急速にすすみ、抗生物質が効きにくい治療が難しい病気です。そのため、基礎疾患がある方や高齢者には特に予防が必要であるとのお話がありました。

実は20年以上前からあった「肺炎球菌ワクチン」ですが、近年、子どもや高齢者への啓発活動や費用の

補助により接種される方が増えています。

「ワクチン」について知ること、そして、自分の予防接種について自分で管理しておくことが大切であることも分かりました。

川東牛馬供養田植



5月13日、下豊松川東地区で5年に一度の伝統行事が行われました。川東牛馬供養田植は昭和41年に広島県無形民俗文化財に指定を受け現在も地元保存会により受け継がれています。この供養田植は、「大山供養田植」とも呼ばれ、大山様を迎えて牛馬の供養と五穀豊穡を祈願する大掛かりな田植です。当日は、20人の早乙女が、「さげ」と呼ばれる男衆による太鼓の音や、田植唄にリズムを合わせながら苗を植えていきました。飾り鞍やのぼりをつけた牛3頭も参加し、観衆の注目を浴びていました。さわやかな神石高原に太鼓の音色と田植唄の歌声が響きわたりました。

備前焼チャリティーの売上金全額寄付

5月29日、仙養ヶ原芸術村で活躍されている備前焼陶芸作家木村憲次さんから3名が、福祉施設の支援を目的に献金8万円を、社会福祉法人よつば会ゆき作業所に寄付されました。この寄附金は4月に仙養ヶ原ふれあいの里で行われた備前焼チャリティーでの売上金の全額で、チャリティーが始まった平成14年から毎年続けられています。
社会福祉法人よつば会理事長の岩谷靖行さんは「作業所の運営が難しい中、毎年ご寄付をいただきうれしく思っています。いただいた寄附金は作業所の運営費に充て、福祉の充実に取り組みます」と長年にわたる活動に感謝を述べられました。



「超プラス思考」の考え方で地域活性化を！

5月12日、13日の2日間「木村俊昭のスーパー公務員養成塾in神石高原町」が三和公民館で開催されました。12日の講演会には、全国各地から140名の参加者が集まり、スーパー公務員と呼ばれる内閣官房地域活性化伝道師の木村俊昭さんの「できないをできるに変える手法」や「プラス思考の考え方」について聴講しました。13日は、前日から参加している40名が、引き続き木村俊昭さんの講義により「経済の作り方」など具体的な地域活性化策について学びました。



塾生のやる気を引き出す木村俊昭さんの講演

全日本大学野球選手権大会に出場！

油木高校出身の馬屋原徹さん(上) (岡山商科大学野球部在籍)と中岡健太さん(父木野) (広島経済大学野球部在籍)が、6月12日から東京ドーム・神宮球場で開催された、第61回全日本大学野球選手権大会に出場されました。この大会は、全国大学野球26リーグで優勝したチームに出場資格があります。二人の努力の積み重ねが、この度の大会への出場へとつながりました。



中岡 健太さん



馬屋原 徹さん